

実社会でのアバター利用における生体影響調査

概要

本研究では、普及が進むアバター利用が人間に与える生体影響について、心理、生体信号、代謝物、遺伝子発現など多層的に調査することに取り組んでいます。このような取り組みの応用として、ここでは実際にオンライン保険相談業務でアバターを利用している人の生体影響調査について紹介します。

特徴

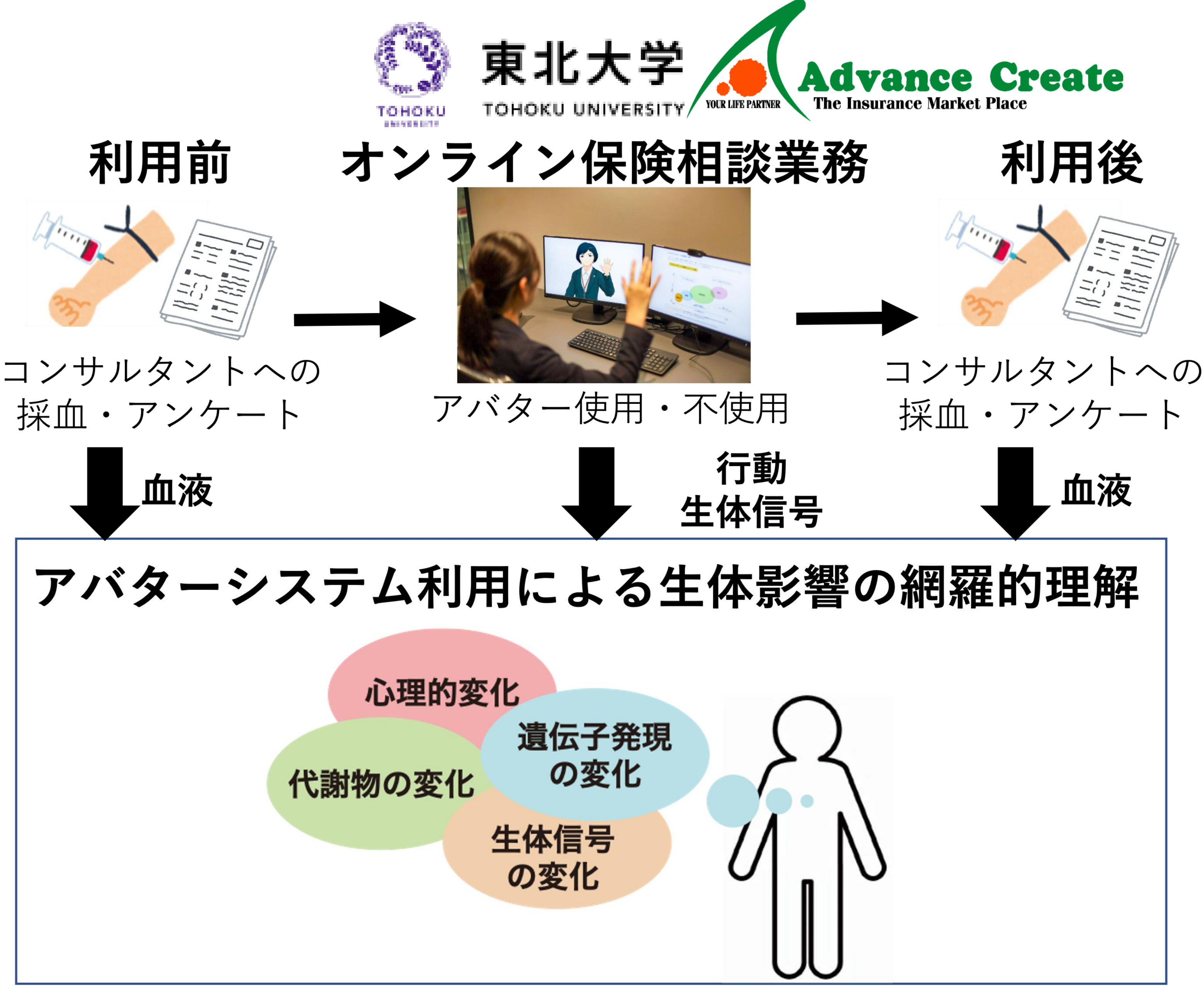
- 実際のアバターサービス従事者に対する生体影響を、血中内物質も含めて調査しました。
- 45分～1時間半ほどのオンライン保険相談業務をアバター利用の有無を比較し、その違いを調査しました。
- アバター利用が私達にもたらしうる影響を網羅的に理解することで、健康的な利用に向けた指針の策定と、健康的に利用するためのシステム開発を目指します。

今後の展開

- 本研究で用いた手法はアバター利用だけではなく、他のサービスや製品、食物等の調査にも利用可能です。様々な調査にも取り組むことで、アバター特有の影響を明らかにすることを目指します。

テーマ「社会課題と向き合う科学技術の最前線」との関連

- 少子高齢化の中で生産性を向上させるためには、人々が健康的に働けることが重要です、本手法により、心理と行動だけでなく生体内の変化も調査することで、健康的な働き方、生き方が可能な技術の開発につなげていきます。



株式会社国際電気通信基礎技術研究所
石黒浩特別研究所

担当 住岡英信 Email:sumioka@atr.jp